

Yamakado News Letter



沢道の様子 3月4日

例年より少し早い春の到来

この冬は雪も少なく、暖冬傾向でした。今津のアメダスで2012年から冬季3ヶ月の月平均気温を調べてみると、2020年の1月は極端に暖かったようです。そうしたこともあってか、3月上旬でも風の少ない穏やかな晴天の日では、既に生き物が活発に活動を始めています。ヤマガラやシジュウカラの求愛の囀り、頻度は少ないですがイカルの囀りも聞こえてきます。

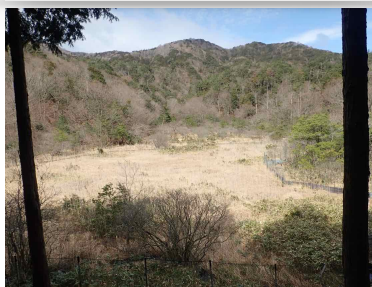


春の使者飛来 2月24日



沢道の様子 2月28日

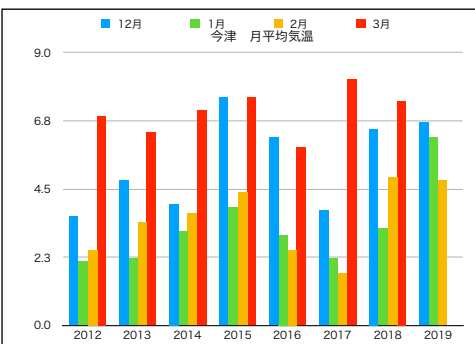
今津 月平均気温								
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
12月	3.6	4.8	4	7.5	6.2	3.8	6.5	6.7
1月	2.1	2.2	3.1	3.9	3	2.2	3.2	6.2
2月	2.5	3.4	3.7	4.4	2.5	1.7	4.9	4.8
3月	6.9	6.4	7.1	7.5	5.9	8.1	7.4	



中央湿原の様子 3月3日



マルバマンサク 3月2日



カナヘビも動き出す 3月2日



アカハライモリ恋の季節 3月4日



設置された当時の湿原 1999年 (藤本H)



自由研究に永原小児童が来訪 2012年

南部湿原の展望台 2ヶ所を老朽化のため 建て替えへ

1999年に設置された南部湿原の2ヶ所の展望台ですが、20年以上も風雪に耐え、たくさんの人に利用されてきました。その間、引き継ぐ会としては可能な範囲の修繕や補強をしてきましたが、これ以上の使用は安全性の問題もあるとのことから解体することになりました。

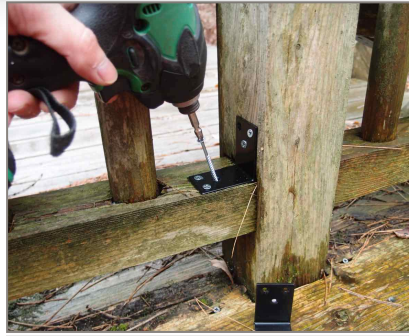
しかしながら、この施設は滋賀県が設置したものです。新たに設置する予算は確保できないとのこと。湿原への進入を禁止しているこの森において、展望台は間近で湿原が観察できる重要な施設であることから、何とかして新たに設置したいところです。そこで、山久のネーミングライツで資材費を捻出し、運搬と施工は引き継ぐ会で行うことで設置費用を圧縮し、新規に展望台を設置することにしました。

3月に入った頃から既存の展望台の解体に取り掛かり、第一土曜の会員保全作業の日には、力仕事が可能で9名が資材の運搬作業を担当しました。2tトラック2台分の資材を運びますが、トラックは隣地牧場跡の林道までしか登ってこれず、牧場内を林内作業車に積み替えて湿原手前の進入路まで輸送。そこから残り数十メートルを手運びで全て運び上げました。作業をした内の熟年組はさすがにお疲れ気味のようでしたが、若手は良い天気の中での肉体労働は気持ちが良かったと感想を述べて言いました。

これからボチボチと施工作業を行います。何とか春の行楽シーズンまでには完成させたいところです。



滋賀県と現場確認 2015年



金具による接続部の補強 2015年



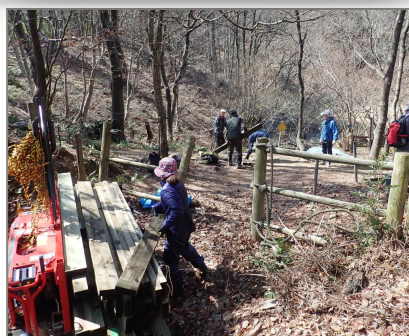
糞粒調査時の昼食場所 2018年



展望台の解体 2月29日～3月3日



解体した古材を撤去 3月7日



林内作業車で新しい資材を搬入 3月7日

生態系の恵みは偉大です

現在、新型コロナウイルスの影響で世界規模の混乱が生じています。現時点でこの混乱は治るどころか、まだピークも見えない状態です。集団で過ごさなければならぬ場所では、たとえマスクをして咳をしても白い目で見られるといった、精神的な息苦しさを蔓延させています。

そうした息苦しさを少しでも和らげたい時は、自然の中を歩いたり、自然の中で食事をすることをお勧めします。そうすれば、私たちは生態系からいかに多くの精神的・文化的な恵みを受け取っているかを感じ取れるでしょう。そしてその感情は生命の活性化に繋がってゆくはず。近くの公園でも良いですし、山門水源の森に来られるのもよし。大いなる自然の恵みを受け取って下さい。



毎月のニュースレターの他、日々の作業や森の様子などを書いた業務報告をPDFで作成しています。ご希望があればメール添付にてお送りします。ご覧のニュースレター・フッターに記載のメールアドレス宛に、名前とメールアドレスをお知らせください。

(富岡)